



中堅看護職員の
キャリアアップ
研修特集

看護職員キャリアアップ・チャレンジ研修 修了生からのメッセージ



“ともにめざす” 県立病院の看護

がんセンター

1年目は循環器内科・心臓血管外科の病棟で、2年目はICUで研修をさせていただきました。慣れない環境の中、不安でいっぱいでしたがたくさんの方に助けていただき無事に研修を終えることができました。

この研修に参加しなければ学べなかったことがたくさんあります。とても楽しい2年間でした。ありがとうございました。

小児医療センター

2年間の研修を通じて心臓カテーテル治療及び、心臓外科手術の器械出しや外回り業務を経験しました。

特に緊急度の高い急性心筋梗塞におけるカテーテル治療では、胸骨圧迫しながらカテ室まで搬送するようなケースを経験し、医師・看護師・放射線技師・臨床工学士のチーム連携を肌で感じることができ、チーム医療の重要性を実感しました。

小児医療センター

心臓血管センターで仕事をしていく中で、人生の大先輩（患者さん）から学ぶことが多く、患者にとって、最善の利益は何かを考え、良く観察し、アセスメントすることの大切さや、気づく力、人として、看護師としての優しさを学び直せた2年間でした。

ご指導してくださった優しい4階南病棟スタッフの皆様へ感謝申し上げます。

【看護技術コース】

希望する県立病院に2年間異動し、より広い視野で実務経験を積みました。8名の研修生が研修を修了し、所属に戻り活躍しています。

【研修期間】平成29年4月～平成31年3月

令和3年度
看護職員キャリアアップ・チャレンジ研修
【看護技術コース】【看護管理コース】
を開講予定です。

研修修了生のメッセージをお届けします。



心臓血管センターで研修を行いました。



小児医療センターで研修を行いました。



心臓血管センター

がんセンターでのキャリアアップ研修から戻り、早1年になります。あっという間の2年間でしたが、日々の看護を行う中で、研修での学びは知識としてしっかり身に付いていました。日々がん看護の難しさを実感しますが、スタッフと知識を共有しながら、看護を行う楽しさを感じています。研修に参加して本当によかったと思います。

がんセンターで研修を行いました。



精神医療センター

これまで精神科のみの経験でしたが、2年間のチャレンジ研修で整形外科と循環器病棟を経験することで、身体面に関する観察力を養い、未経験だった看護技術を学ぶことが出来ました。特に循環器病棟では、心不全などの循環器疾患に対する看護や多彩な不整脈変化、異常不整脈への対応を学ぶことができ、自身のスキルアップに繋がったと実感します。

今後は研修で学んだ知識・技術を精神科看護の中に取り入れ還元していきたいと思っています。

心臓血管センター

小児医療センターは、成人看護とは違い、小児期の発達段階に応じた関わりや、様々な先天性疾患の手術看護を経験することが出来ました。先天性心疾患は、今後成人の病院へ移行が予測されているため、手術を通して多くの学びを得る事が出来ました。

2年間という短い期間でしたが、大変に有意義な研修をすることが出来ました。

精神医療センター

この2年を振り返り充実した貴重な時間だったと感じています。「チャレンジ」ですので、困難な事も多々ありましたが、病院、病棟の方々の協力もあり、2年間の研修を終えることができました。経験のなかった専門病院で学べたことで、幅広い知識、技術の習得や、広い視野での看護の提供を得る事ができたと感じています。

この経験を無駄にすることなく、今後に繋げ頑張っていきたいと思っています。

小児医療センター

2年間がんセンターでチャレンジ研修をさせていただきました。婦人科病棟に勤務し、化学療法・手術療法・放射線療法・終末期看護を経験しました。

がん治療や疼痛コントロール、終末期のケアを通して様々な知識や技術を学べました。小児医療センターでは、終末期におけるコミュニケーション方法や疼痛ケアを活かしたいです。

発行 病院局総務課、県立病院看護部

看護部通信では、看護職員の皆さんの声をお届けします。
看護部通信に関するご意見をお待ちしております。





中堅看護職員の
キャリアアップ
研修特集

看護職員キャリアアップ・チャレンジ研修 修了生からのメッセージ



【看護管理コース】

所属以外の県立病院を3か月ごとにローテーションし、各病院の看護管理を学びます。
4名の研修生が所属研修を経て、9か月間にわたって、ローテーション研修を行いました。

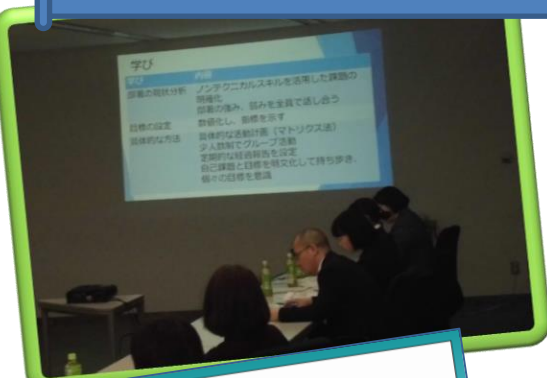
平成30年度修了生

【研修期間】平成30年4月～平成31年3月



看護部長との学習会
テーマ：看護管理者に求められるもの

看護管理コース研修報告会



学び
人材育成とコミュニケーション能力についての学びと
今後に活かす内容

自己のコミュニケーション方法の見直し

平成30年度
県立病院看護職員キャリアアップ・チャレンジ研修
看護管理コース

平成30年度県立病院看護職員
キャリアアップ・チャレンジ研修報告：看護管理コース

「人材育成の苦手意識の克服」

現場に活かせる目標管理

心臓血管センター
がんセンター
精神医療センター
小児医療センター

研修では、他施設の特徴や看護実践、組織マネジメントの実際を学び、自らの業務を振り返ることができました。

スタッフが気持ちよく働けるよう、職場の環境を整えるためには、スタッフに関心を持ち、会話を大切にし、承認行動を取り組んでいく姿勢を学びました。

今後は、研修の学びを実践に活かしていきたいです。

令和元年度修了生

【研修期間】平成31年4月～令和2年3月

心臓血管センター
がんセンター
精神医療センター
小児医療センター

4病院の看護管理に触れる中で、自分がいかに狭い世界で過ごしていたのかを痛感し、想像以上に多くの学びがありました。開始当初は1人で頑張るものと思いましたが、研修生の交流も多く、気付けば4人で看護管理者のあるべき姿を追い求めていました。

研修で得た学びと県立病院の絆を胸に、今後の実践に繋がりたいです。

ローテーション研修前
アドバイザーの副看護部長との情報交換会



マイナビ看護学生病院説明会
企画・運営を実践
採用活動にも参画し、県立病院の看護の魅力を発信！



問題解決のスキルを活用し、自己の課題と向き合い
研修目標達成に向けて取り組みました。



発行 病院局総務課、県立病院看護部



看護部通信では、看護職員の皆さんの声をお届けします。
看護部通信に関するご意見をお待ちしております。

看護職員小規模グループ研修
修了生からのメッセージ

県立病院の看護職員が組織横断的に小規模グループを編成し、今後の県立病院運営の改善等につながる共通課題に取り組みました。

小規模グループ研修の
成果を活用していますか？

平成30年度修了生

【研修期間】平成30年6月～平成31年3月



<A班>
テーマ

患者のケアに直接関わらない業務を依頼された看護職員が、納得して業務に取り組める職場づくり
患者のケアに直接関わらない業務を依頼された看護師の大半は、やりがいを感じつつも負担感を持っていました。
そこで、委員会・係活動に焦点を当てた対策を検討し、業務の見える化をするため、「委員会・係の活動カレンダー」の導入と運用が効果的と考えました。
今後「委員会・係の活動カレンダー」を使用し、看護師の負担感が軽減したかを評価していきたいです。

令和元年度も継続して
取り組みました。



ホスピタリティ・マインドとは・・・
「相手のことを考えて
行動しようとする気持ち」



- ・コミュニケーションが増え、活気ある職場になる
- ・気持ちよく働くことができる
- ・仕事がスムーズになる
- ・やりがいを感じられる

心臓血管センター
がんセンター
精神医療センター
小児医療センター

<B班>

テーマ：ホスピタリティ・マインドにあふれた職場を目指して

問題解決シートを基に、何度も原点に戻りながら議論を重ね、一時はゴールにたどり着けないのではないかと感じたときもありましたが、形にすることができました。

DVDは私たちの汗と涙の結晶です。是非皆さんで視聴していただき、一緒にホスピタリティ・マインドにあふれた職場を目指しましょう。

アドバイザー
(平成30年度、副看護部長)

- A班：がんセンター
小児医療センター
- B班：心臓血管センター
精神医療センター

発行 病院局総務課、県立病院看護部



看護部通信では、看護職員の皆さんの声をお届けします。
看護部通信に関するご意見をお待ちしております。

令和元年度修了生

【研修期間】令和元年6月～令和2年3月



心臓血管センター
がんセンター
精神医療センター
小児医療センター

個別性のある看護計画の見本

| 看護計画と関連因子 | 看護計画 | 関連因子 | 看護計画 |
|--|--|---|--|
| 診断指標と関連因子 看護計画と関連因子と患者の病歴を照らし合わせて考える。 | 診断指標 出血 皮膚統合性の変化 関連因子 ・病歴を考慮し化学物質 ・病歴を考慮し、年齢、手術の有無、病歴 | 患者 右肘部に2cm大の皮下出血あり。 右肘部の皮下出血内に、一部1cm大の表皮剥離あり | 看護計画 OP: 絆創膏かぶれ確認 観察による変化 観察による変化 観察による変化 |
| 看護計画と関連因子 看護計画と関連因子と患者の病歴を照らし合わせて考える。 | 看護計画 いつ、どこで、誰が、何を、どのように4W1Hで書く。 診断指標（項目）が改善するための方法を記入する。 関連因子（項目）に働きかける内容を記入する。 | 患者 患者または患者に関連することが主題の目標である。 診断指標が消失または軽減する内容である。 患者と一緒に考えることが望ましい。 | 看護計画 いつ、どこで、誰が、何を、どのように4W1Hで書く。 診断指標（項目）が改善するための方法を記入する。 関連因子（項目）に働きかける内容を記入する。 |



アドバイザー
(令和元年度、副看護部長)

- A班：精神医療センター
小児医療センター
- B班：心臓血管センター
がんセンター



<A班>
テーマ

統一した看護を提供するために
個別性のある看護計画の立案を
目指す

本研修を通し、問題解決思考のプロセスの重要性を改めて実感しました。更に看護の質を高めて個別性のある看護の提供を行うために、研修での学びを自らも実践し、他スタッフへの指導も日々行っています。

今回の研修は、看護師を続けていく上で、得るもの大きい貴重な体験でした。ご指導ありがとうございました。



<B班>

テーマ：スタッフが問題解決思考をもって自発的に自部署の課題解決に取り組むための管理者としての支援

小規模グループ研修を通し、多くの学びを得ました。中でも問題解決思考について深く学ぶことができました。未だ完璧に身につけておりませんが、繰り返し問題解決思考で考えることで着実に身につけ、研修での学びを広めていきたいと思えます。

今回小規模グループ研修という貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

問題解決プラン作成シート(見本)

| 現状 | Why【原因】 | How【対策】 |
|---|--|--|
| 現状 問題解決シートを基に、何度も原点に戻りながら議論を重ね、一時はゴールにたどり着けないのではないかと感じたときもありましたが、形にすることができました。 | Why【原因】 問題解決思考を持っていない 問題解決思考を持っていない 問題解決思考を持っていない | How【対策】 問題解決シートを基に、何度も原点に戻りながら議論を重ね、一時はゴールにたどり着けないのではないかと感じたときもありましたが、形にすることができました。 |